

山口県病院協会会報

2026 **4月号** No.91

- 発行日 令和8年4月1日
- 発行所 一般社団法人山口県病院協会
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号
- 電話 083-923-3682
- FAX 083-923-3683
- 発行人 神徳 眞也
- 印刷所 大村印刷株式会社
- メールアドレス info@yha.or.jp
- ホームページ <http://www.yha.or.jp>



社会福祉法人恩賜財団済生会支部 山口県済生会山口総合病院

〒753-8517

住 所 山口市緑町2番11号

電 話 083-901-6111

FAX 083-901-0417

URL : <https://www.yamaguchi.saiseikai.jp>

CONTENTS (目次)

会員病院紹介	2ページ
協会役員コーナー	3ページ
病院スタッフコーナー	4ページ
四県病院協会連絡協議会報告	5ページ
医療経営講習会報告	5ページ
研修会報告	6ページ
部会コーナー	6ページ
諸会議報告	7ページ
お知らせコーナー	8ページ

会員病院紹介

病院長挨拶 ～山口県済生会山口総合病院～



社会福祉法人恩賜財団済生会支部
山口県済生会山口総合病院
病院長

郷良 秀典

恩賜財団済生会は、明治天皇の「無告ノ窮民」のため「施薬救療以テ済生ノ道ヲ弘メムトス」との勅語を体し、明治44年に創立されました。当院は、昭和21年山口県更生会館診療所に始まり、変遷を経て、昭和26年済生会山口病院として発足、以後今日に至るまで山口医療圏の地域に密着した中核病院として良質な医療、福祉を提供することに邁進してきました。心臓カテーテル室、人工透析室、心臓血管外科を開設後、昭和55年に済生会山口総合病院となりました。

当院は『求められる医療を高いレベルで提供し、地域社会に信頼され、自らが誇りを持てる病院を目指します』を理念とし、山口・防府医療圏の2次救急を担う病院として、当該医療圏のみならず広く県内や島根県などからも患者さんが来られ急性期医療を提供しています。また、地域医療支援病院として、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに基づき医療、介護、生活支援のシームレスな体制構築に努めています。さらに、済生会という日本最大の社会福祉法人の病院として、生活困窮者など社会的

支援を要する人への無料低額診療などさまざまな社会福祉、支援事業を行っています。

現在当院は新病院建築中です。これまで山口地域に密着し地域に育てられた病院、との自負から「これからも、ずっとこの場所で…皆様に愛される病院を目指して」を合い言葉に、現地全面建て替えとしました。山口地区の医療のレベルアップに寄与し、ひいては“住みよい街づくり”にも寄与できればと考えています。

〈病院の現状〉

1) 概要

名 称 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
山口県済生会山口総合病院
開 設 者 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
山口県済生会
支 部 長 津江 和成
住 所 山口県山口市緑町2番11号
T E L 083-901-6111
F A X 083-901-0417
U R L <https://www.yamaguchi.saiseikai.jp>
病 院 長 郷良 秀典
診 療 科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、
腎臓内科、脳神経内科、外科
呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、
乳腺外科、整形外科、脳神経外科
精神科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、
皮膚科、泌尿器科、産婦人科
眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、
放射線科、麻酔科
糖尿病・血液内科
病 床 数 279床（一般病床271床、集中治療室8床）

2) 沿革

昭和26年11月 山口県済生会が山口同胞援護会病院を継承し、済生会山口総合病院として設立
昭和53年11月 人工透析室、心臓カテーテル室を新設
平成2年6月 循環器特定病床40床を加え一般病床310床に増床
平成13年9月 集中治療室6床新設（310床内）
平成15年10月 臨床研修病院の指定
平成21年4月 DPC対象病院へ移行
平成26年7月 集中治療室8床に増床（310床）
令和2年10月 新病院建築着工
令和4年9月 北棟共用開始、一般病床279床とする
令和8年1月 南棟共用開始

3) 特徴

当院は、地域の中核病院として急性期医療を担い、救急医療、循環器疾患、外科系疾患、がん診療を中心に高度かつ専門性の高い医療を提供しています。また、済生会の理念である「誰もが等しく医療を受けられる社会」の実現を目指し、医療と福祉を一体的に捉えた支援体制を整えています。今後も、専門性と総合力を兼ね備えた医療機関として、地域に信頼される医療の提供に努めてまいります。

協会役員コーナー

薬の処方に関して



医療法人社団向陽会
阿知須同仁病院
理事長

西田 一也

2026年度の診療報酬改定は、医師や薬剤師などの技術料に当たる本体部分を現状より3.09%引き上げる方針となりました。物価上昇や賃上げを考慮した内容とこのことです。病院群にとりましては、データ分析の結果、機能分類がすすみ、さらなる構想を作り上げるものともいわれております。

膨らむ医療費対策として2割を占める薬剤費を抑えとされます。高齢者に対する処方量の増加やバイオ医薬品などの革新的な新薬の登場で高額化しています。ジェネリックの使用や残薬確認などの今までの対策では追いつかないようです。さらなる残薬への意識向上や薬局からの積極介入が期待されています。訪問診には、同時訪問で直接勧められます。

一方で2027年3月からOTC類似薬77成分を対象とした保険外負担を求める制度が創設されます。混合診療を例外的に認める保険外併用療養費制度のなかに含まれます。今回の特別料金の水準は「対象薬剤の薬剤費の4分に1」とされました。そのリストを拝見するといわゆる一般薬が多く含まれております。

入院時に減薬を考慮することを意識しても、専門科からの処方も含まれるためなかなか進みません。チーム医療で、薬のスイッチングに貢献します。

精神科入院医療の行く末について思うこと



医療法人山陽会
長門一ノ宮病院
理事長・病院長

稲野 秀

まだ少々任期は残っておりますが私が寄稿するのもこれが最後になろうかと思えます。ながらくお世話になりましたことに心からお礼申し上げます。精神科病院医療の今後について思うところをこの場をお借りして書き残していくことにさせていただきます。

治療抵抗性で慢性期の統合失調症患者さまの入院医療を主な治療対象とする精神科病院は、これまでの病棟サイズは維持できなくなる可能性が大きいと思えます。若年人口が減少することで統合失調症の新規発症者が減ること・生物学的および社会的治療技法の改善により病院外で暮らせる方が増えることによります。

長期入院中の統合失調症患者さまも高齢化して精神症状に対する治療ニーズが相対的に減少していくことは感覚的に明らかです。身体的ケアが主体となることで一般科診療の重要性が増しますが、地域の先生方には今後もお世話になります。

精神科病院の「ダウンサイジング」はやむを得ないとしても、「ソフトランディング」できるかどうか大切どころだと思います。これまでに提供できていた医療機能が急激に損なわれることは、ユーザー・我々・地域社会の皆にとって負荷が大きいので穏やかに無理なく変化していきたいものです。小さな病院の経営は非効率な場合が多いですが、得意分野を絞り込むことも必要でしょう。「精神科病院」をひとくくりのイメージで語れなくなる時代がすぐそこにきています。

病院スタッフコーナー

看護師 1年を振り返って



医療法人愛命会
大田病院
看護師

ゆあさ あいか
湯浅 愛香

私は、高校卒業後から光市にある大田病院に就職しました。看護補助者として働きながら看護学校へ通い昨年看護師免許を取得し、現在は精神科病院の一般病棟に勤務しています。

精神科の患者さんは不安や不満を抱えていることが多く、1日を通して精神症状に変化が多いため身体的ケアだけではなく心のケア、一人の人間として向き合うことが大切になってきます。正解が見えにくく、自分の言動や表情が患者さんに影響するため、対応の仕方や距離感に難しさを感じる場面が多くあります。

その中で、私が大切に思い心がけていることは、患者さんの言動を否定せずにその人の考えや世界観を受け止めることや、「何かしてあげよう」と思うのではなく患者さんのペースを大切にしながら寄り添い、安心できる存在や環境作りを意識した関わり方です。安心することで緊張や不安が解けて感情が自然に表現でき信頼関係が生まれるものと感じます。

毎日患者さん全員と関わることが私の目標であり、短い関わりであっても挨拶や声掛けを通して存在を伝えることで、患者さんの状態を把握することに繋がります。また、閉鎖空間の中で生活する患者さんは、ストレスを抱える人が多いため関わる中で少しでも気が休まり、頼りになる存在でありたいと思います。

この1年を振り返り、患者さんが少しずつ表情や自分の気持ちを表現できるようになる姿を間近で見ることができました。症状の改善が目に見えにくいからこそ小さな変化に気づけたときの喜びは大きく、人として回復、安定していく過程に寄り添えることが精神科看護のやりがいであると感じました。

現在も正解がわからないですが、対応の仕方や関わり方は患者によって違い、その人に合った看護を見つけ出すことが今後も楽しみであり課題だと思えます。

多様化する災害に備える病院と理学療法士



独立行政法人労働者健康安全機構
山口労災病院
中央リハビリテーション部
主任理学療法士

よねざわ ちあき
米沢 智史

近年、地震や風水害などの自然災害が全国各地で相次ぐとともに、医療機関を標的としたサイバー被害も発生しており、病院にはこれまで以上に幅広い災害対応力が求められています。こうした状況の中、災害拠点病院に勤務する理学療法士として日常診療に携わるとともに、日本DMAT（Disaster Medical Assistance Team）隊員として災害医療活動にも関わっています。理学療法士の役割は、平時のリハビリテーションにとどまらず、災害時には患者さんの早期離床支援や避難行動の補助、傷病者の搬送、医療チームの一員としての情報共有など、多岐にわたります。

当院では自然災害のみではなく、サイバー被害への対応も重要な課題と捉え、サイバー被害対応訓練や災害対策訓練を多職種合同で企画・運営しています。理学療法士がこれらの訓練に関わることで患者対応や動線確認が具体化され、現場を想定した実効性の高い訓練につながっています。

災害時の医療は、一部の専門職だけで成り立つものではありません。平時からの顔の見える関係づくりと、多職種が互いの役割を理解することが、非常時の迅速な対応力を高めます。

災害対応の在り方は施設ごとに異なる部分も多く、他院ではどのように訓練や役割分担を行っているのか、今後も情報交換を重ねながら災害対応力向上につなげていき、地域に信頼される災害拠点病院づくりに尽力していきたいと考えています。

四県病院協会連絡協議会報告

第29回 四県病院協会連絡協議会

令和8年1月23日（金）に、岡山・広島・山口・福岡の病院協会による第29回四県病院協会連絡協議会が、ホテルグランヴィア岡山で開催され、山口県病院協会より神徳会長ほか計3名が出席し、他県からは役員ほか計23名が一堂に会した。

各県病院協会の挨拶および自己紹介の後、それぞれの事業概説明がなされ、続いて各県提出議題の発表と意見交換が行われた。

各県病院協会から提出された議題は次のとおり。

- 1) 広島県提出：広島県の看護師不足・看護学校の状況について
- 2) 山口県提出：病院給食のアンケート調査について（アンケート結果報告）
- 3) 福岡県提出：機関紙「ほすびたる」について
- 4) 岡山県提出：スマホを使ったリアルタイム・アンケート「直感（観）力で病院の未来をイメージ」



医療経営講習会報告

令和7年度 冬期医療経営講習会

令和8年1月30日（金）山口グランドホテルにて冬期医療経営講習会が開催された。

講師に一般社団法人 地域包括ケア推進病棟協会の会長である仲井 培雄先生をお招きし、87名が聴講した。

演 題 「地域包括ケアを推進する病棟がリードする2026年度診療報酬改定」

講 師 仲井 培雄 氏

一般社団法人 地域包括ケア推進病棟協会 会長

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 理事長



研修会報告

令和7年度 第2回医療経営セミナー

令和8年3月17日（火）山口グランドホテルにおいて、賛助会員である株式会社西京銀行と共催にて、今年度第2回の医療経営セミナーを開催、50名が参加した。

演題および講師は以下のとおり。

〈第一部〉

演 題 「令和8年度診療報酬改定のポイント」

講 師 有限会社メディカル・サポート・システムズ

代表取締役社長 細谷 邦夫 氏

〈第二部〉

演 題 「人事労務の負担を減らす、医療現場の新しい選択肢」

講 師 株式会社西京銀行ビジネスコンサルティング部

主任調査役 加川 和宏 氏



細谷 邦夫 氏



加川 和宏 氏

部会コーナー

事務長部会 支部会議報告

【周南支部】

開催日 令和8年3月13日（金）16：00～18：00

場 所 遠石会館

研修会 テーマ 「令和8年度診療報酬改定について」

講 師 株式会社セイエル医薬営業本部

営業支援担当部長 谷野 美智雄 氏

その他 協議・報告



トピックスコーナー

「令和8年経済センサス—活動調査」について

総務省・経済産業省は、令和8年6月1日に全国の全ての事業所・企業を対象に、「令和8年経済センサス—活動調査」を実施します。

本調査は、全ての産業分野における事業所・企業の経済活動の状況を全国的・地域別に明らかにすることを目的とした重要な統計調査ですので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

経済センサス
活動調査

令和8年6月1日

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

諸会議報告

令和7年度 第4回理事会

日時 令和8年1月15日（木）16:30～17:30

開催場所 かも福オンプレイス

【議事】

1. 山口県病院協会旅費規程の一部改定について

【承認事項】

1. 令和7年度山口県病院協会収支予算の執行状況について
2. 「令和7年度 山口県肝疾患コーディネーター研修会」の後援について

【協議事項】

1. 令和8年度定時総会の特別講演について
2. 第29回四県病院協会連絡協議会（岡山）の提案

【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
 - ・山口県医療対策協議会委員
会長 神徳 眞也（再任）
 - ・山口県医療対策協議会委員（社会医療法人粋）
副会長 尾中 宇蘭（再任）
 - ・山口県訪問看護推進協議会委員
常任理事 玉木 英樹（再任）
 - ・山口県がん対策協議会委員
 - ・がん登録部会委員
監事 瀬山 厚司（新任）
4. 県各種委員会等の経過報告について
神徳会長
 - ・令和7年度第1回山口県医療対策協議会（7月30日）
尾中副会長
 - ・令和7年度第1回山口県医療対策協議会専門医
制度部会（8月7日）
玉木常任理事
 - ・令和7年度第1回山口県在宅医療推進協議会（10月15日）
木下常任理事
 - ・令和7年度第1回山口県感染症対策連携協議会（7月30日）

【その他】

令和7年度 正・副会長、顧問会議

開催 令和8年2月10日（火）18:00～18:30

開催方法 かも福オンプレイス

【議事】

1. 令和7年度収支予算の執行状況について
2. 令和8年度役員人事について
3. 令和8年度定時総会の特別講演について
4. その他

令和7年度 総務委員会

開催 令和8年2月18日（水）15:30～16:30

開催方法 Web会議（Zoom）

【議事】

1. 令和8年度叙勲受章候補者の選定について
2. 令和8年度県選奨受賞候補者の選定について
3. 令和8年度県知事表彰（看護職員）推薦について
4. 令和8年度県知事表彰（救急医療）候補者選定について

5. 令和8年度病院優良職員の表彰（山口県病院協会会長表彰）について

6. 令和8年度山口県病院協会事業計画（案）について
- 【その他】

令和7年度 第4回情報管理委員会

日時 令和8年3月11日（水）15:30～16:30

開催方法 Web会議（Zoom）

【協議事項】

1. 4月号の発行について
2. 7月号の発行準備について
3. その他

令和7年度 第5回理事会

日時 令和8年3月17日（火）16:00～17:30

開催場所 山口グランドホテル

【議事】

1. 山口県病院協会の令和8年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の設定について

【承認事項】

1. 令和7年度山口県病院協会決算予測について

【協議事項】

1. 令和8年度病院初級職員研修会について
2. 令和8年度夏期医療経営講習会について

【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
 - ・山口県献血推進協議会委員
副会長 郷良 秀典（再任）
 - ・山口県医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員
常任理事 松谷 朗（再任）
 2. 県各種委員会等の経過報告について
神徳会長
 - ・令和7年度第2回山口県医療対策協議会（2月9日）
 - ・令和7年度第2回山口県医療審議会（3月13日）
 - ・第120回医療法人部会（3月13日）
 - 尾中副会長
 - ・令和7年度山口県循環器病対策推進協議会（2月9日）
 - 玉木常任理事
 - ・令和7年度山口県訪問看護推進協議会（3月12日）
 - 松谷常任理事
 - ・令和7年度山口県医療勤務環境改善支援センター
運営協議会（1月29日）
 - 西田常任理事
 - ・令和7年度山口県救急業務高度化推進協議会・幹
事会合同会議（2月19日）
 - 橋谷田理事
 - ・令和7年度第1回山口県医療費適正化推進協議会（2月9日）
 - 瀬山監事
 - ・令和7年度第1回山口県がん対策協議会（2月12日）
 - ・令和7年度第1回山口県がん対策協議会がん登録部会（2月16日）
- 【その他】
- ・県協議会および委員会、他団体役員や行事などへの出席確認について

お知らせコーナー

第19回医療関係団体新年互礼会

令和8年1月10日（土）、山口市のかめ福オンプレイスにて新年互礼会が開催され、総勢301名の医療関係者等が一堂に集いました。山口県病院協会からは神徳会長をはじめとして役員ほか計15名が出席しました。

山口県医師会との懇談会

令和8年3月10日（火）、山口市の割烹 ひさごにおいて、山口県医師会との懇談会が開催されました。山口県医師会からは加藤会長ほか計5名、山口県病院協会からは神徳会長ほか計4名が出席し、県内の医療情勢等について意見交換を行いました。

会員の異動

【会員の変更】

・錦病院

変更後

理事長 大浅 貴朗

変更前

理事長 玉田 隆一郎

会員の退会

・医療法人星の里会 岡病院（診療所へ転換のため）

～事務局からのお願い～

病院の住所や理事長・病院長先生並びに事務長、診療科目・病床数などに変更があった場合は、事務局までお知らせください。変更届の様式は協会ホームページ（<http://www.yha.or.jp>）より印刷することができます。

病院協会の主な行事予定

- | | | |
|--------|-------------|----------------|
| ○5月13日 | 第1回理事会 | （会場：セントコア山口） |
| ○6月4日 | 山口県病院協会定時総会 | （会場：山口グランドホテル） |
| ○6月中旬 | 第1回情報管理委員会 | （会場：未定） |
| ○6月中旬 | 初級職員研修会 | （会場：セントコア山口） |

編集後記

◆2026年度の診療報酬改定は、30年ぶりに3%を超える改定率となりました。改定実現に向けて尽力された医師会や病院団体をはじめ、関係各位の皆様にご心より敬意を表します◆改定率3.09%の内訳は、賃上げ対応分+1.70%、物価対応分+0.76%、効率化・適正化-0.15%です。医療従事者の処遇改善や物価上昇への対応が盛り込まれた点は評価される一方、賃上げ対応分の用途が限定されていることや、物価高騰が続く現状を踏まえると、病院経営の現場では慎重に見ていく必要もありそうです。また、これまで医療機関の経営を下支えしてきた物価高騰対策等の補助金は、2026年度以降は支給されない見込みです◆まずは6月以降の実際の収支の動きを注視しつつ、改定率の数字だけにとらわれず、経営環境と現場の状況を冷静に見つめていくことが求められているようにも思います。（木下 祐介）